

【平成 28 年 6 月から平成 28 年 11 月までリハビリテーション部にて外来心臓リハビリテーションを受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

良好な運動耐容能のために必要な等尺性膝伸展筋力*1の検討

*1: 等尺性膝伸展筋力とは、座った状態で膝を前へ伸ばす筋力のことです。

【研究背景・目的】

運動耐容能(最高酸素摂取量)*2が 5 メッツ未満のものは、状態が悪化するリスクが高いと言われており、5 メッツ以上の運動耐容能を獲得することが心臓リハビリテーション(以下、心リハ)の一つの目標です。一方、等尺性膝伸展筋力はその運動耐容能と関係が強く、つまり生命予後にも影響していると言われていています。しかしそれらの先行研究では男性のみを対象としたものが多く、また当院の心不全患者の平均年齢は 10 歳程度高齢であること、心肺運動負荷試験(以下、CPX 検査)*3の運動種目が異なっているものが多いこと、などの現状があります。

そこで今回、運動耐容能が 5 メッツ前後での等尺性膝伸展筋力、その他の検査結果や運動能力の差を調査することで、5 メッツ以上を目標とした心リハにおいて評価すべきポイントの検討、そして心リハの内容や在宅での運動指導の質向上に活かしたいと考えています。

*2: 運動耐容能とは最高酸素摂取量とも言い、CPX 検査の負荷に対して最大限努力したときの体力のことで、単位をメッツで表します。

*3: CPX 検査とは、マスクを装着して自転車運動での負荷にどれだけ耐えられるかを検査し、客観的に体力を評価するものです。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 28 年 12 月 19 日から平成 29 年 7 月 31 日
- ・対象：平成 28 年 6 月 7 日から平成 28 年 11 月 30 日までに外来心リハで CPX 検査を受けた患者さん

・取得情報：

診療・リハビリテーションカルテから以下の情報を収集する。

- 1) 基本患者情報・・・年齢・身長・体重
- 2) 既往歴・・・糖尿病(薬で治療)の有無
- 3) 採血・・・血中アルブミン値、糸球体濾過量、ヘモグロビン量
- 4) CPX・・・最高酸素摂取量(Peak VO₂)、最高酸素摂取量時のメッツ、最高酸素摂取量時の自転車の負荷量(WR,ワット)、負荷量に対する酸素摂取量の増加度合い(Δ VO₂/ Δ WR)、呼吸での二酸化炭素の吐き出しやすさ(VEvsVCO₂ slope)、息切れが強いときの呼気終末二酸化炭素分圧(RCpoint-ETCO₂)、酸素摂取効率勾配(OUES)
- 5) 心エコー・・・左室駆出率(LVEF)、E 波減衰時間(DCT)、E/e'
- 6) 身体機能評価・・・ QIS、30 秒間椅子立ち上がりテスト、6 分間歩行距離、握力、5m 歩行速度、過去 6 ヶ月以内で 2~3kg 以上の体重減少の有無、易疲労性の有無(最近 2 週間の疲労感)、身体活動(定期的な運動の有無)

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化(データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること)を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円+消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 リハビリテーション部 井本 俊之

ih 飯塚病院

innovate and evolve

【問い合わせ先】

飯塚病院 リハビリテーション部 井本 俊之、横手 翼

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL : 0948-22-3800 (代表)